

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業		新庁舎整備総合調整事業				担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2907
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり				根拠法令 個別計画等	新庁舎整備の基本的な考え方 深谷市新庁舎建設基本計画			
	小項目	3	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		旧庁舎については耐震性が著しく低く、大規模地震の際、防災拠点としての役割を果たせない状況にあった。また老朽化や狭あい化、外部庁舎の分散化と市民サービスの低下、維持管理コストの増大化など大きな課題を抱えていた。平成24年度の「深谷市公共施設の在り方に関する事前協議会」での協議、平成25年度の「深谷市公共施設在り方検討市民会議」の提言等をもとに、市として外部庁舎を集約した新庁舎建設に向けた事業を推進した。									
目的 ※何のために		大規模地震時においても持続可能な行政サービスを提供できる「安全・安心な防災拠点」とし、通常時においても市民サービスの更なる向上を図るため									
対象 ※誰・何を対象に		新庁舎及び建設予定地									
手段 ※どのように		平成27年度に基本計画を策定、平成28、29年度に基本・実施設計を策定し、令和2年度の新庁舎建設工事及び令和3年度の新庁舎建設第2期工事の完成に向け、新庁舎建設に必要な総合調整を行った。									
成果 ※何を求めるか		市民にとって安全・安心な庁舎、市民サービスの向上を目指した庁舎、人にやさしく、市民に開かれた庁舎、自然環境にやさしい庁舎、シンプルで機能性と経済性に優れた庁舎の5つの基本理念を実現する庁舎建設を行った。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	新庁舎整備事業	433,664,428	
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	新庁舎整備事業	71,656,200	
本事業の 主な業務		・新庁舎建設推進本部開催							・新庁舎建設工事監理業務(H30～R3)		
		・新庁舎建設特別委員会対応							・新庁舎建設第2期工事(R2～R3)		
		・新庁舎建設基本計画策定業務(H27)							・新庁舎の総合管理業務委託(R2～R6)		
		・新庁舎建設基本・実施設計策定業務(H28～29)							・		
		・関係機関との調整							・		
		・新庁舎建設工事(H30～R2)							・		

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		新庁舎建設実施設計推進本部開催	新庁舎建設工事 本体・外構一部	新庁舎建設工事 本体・外構一部	新庁舎建設工事 現庁舎解体・付帯倉庫・外構	付属倉庫・車庫 駐車場整備工事周辺道路 拡幅工事(執行委任)	
事業費	予算(現額)	96,548,284	2,420,162,000	5,504,465,200	2,335,847,000	560,997,000	0
	決算額	93,868,019	1,335,937,828	4,868,170,154	2,047,379,958	505,320,628	0
	財源内訳	国支出金	0	30,397,000	60,794,000	10,133,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	73,400,000	1,223,500,000	4,125,100,000	1,295,500,000	163,100,000
		他特定財源	0	0	0	2,000,000	0
		一般財源	20,468,019	82,040,828	682,276,154	739,746,958	342,220,628
人件費	従事職員数(人)	4.75	4.70	4.65	4.20	1.16	0.00
	人件費相当試算※	36,950,250	36,575,400	36,553,650	34,171,200	9,003,822	0
総事業費試算		130,818,269	1,372,513,228	4,904,723,804	2,081,551,158	514,324,450	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評估指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	新庁舎建設推進本部等の開催 （経営会議への進捗状況報告）		目標値	回	5	10	12	4	1	0
			実績値		3	10	12	4	1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各年度の予定スケジュールに応じて目標値を設定 / 開催会議録							
	実績値の算出式									
活動指標 2	年度別計画にある設計又は工事 実施に向けた業者打合せ回数		目標値	回	30	40	40	40	3	0
			実績値		28	40	40	40	3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各年度の予定スケジュールに応じて目標値を設定 / 打ち合わせ議事録							
	実績値の算出式									
成果指標 1	年度別計画にある設計又は工事 達成割合		目標値	%	100	100	100	100	100	0
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各年度の工程を達成することで期間内の新庁舎建設が実現できることから１００％が目標 / 実績（成果品等）により把握							
	実績値の算出式									
成果指標 2	文書等削減割合		目標値	%	0	30	0	0	0	0
			実績値		0	15.4	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		民間企業の実績ベースを目標値とした。 / 実績測定により把握							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	経営会議への進捗状況報告については、庁舎を運営するうえで重要である庁舎駐車場の開始時に行った。また、庁舎建設２期工事が完成目前であったため、打合せを必要最小限で行ったが適正な進捗管理や安全管理などが行えた。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	昨年度より継続して行っていた２期工事においても、計画工程通り進捗し重大な事故やトラブルも無く６月末をもって完成した。	
			評価者	庁舎管理係長 小山 明仁

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A: 効率である B: 高める余地あり C: 効率でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 コスト面など効率的に執行できているか。 民間委託や他事業との統合・連携が可能か。 	A	<p>平成24年度から進めてきた本事業においては、協議会や市民説明会など多数開催し市民や職員の意見を多く反映させると共に、設計時に業者と綿密な打ち合わせを行い必要な設備を盛り込みつつコストカットを図った。また、建築工事中にも現場確認や業者との定例打合せを行うなどして、さらなるコスト削減を図ったうえで、工程通り工事を進捗させ、大きな事故もなく事業を完成させた。</p>
			評価者 庁舎管理係長 小山 明仁

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	2期工事の完成と付帯倉庫家具類の調達に向け、必要な調整を行っていく。
達成状況及び その効果	・2期工事については、施工業者との打合せを密に行っていたため、計画通り工事が進捗し、工事期間中も重大な事故、トラブルもなく完成させた。 ・付帯倉庫家具類については、必要となる棚などの数量と品物を把握し、長期に渡り使用でき、また大容量を収納できる物品を調達できた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	新庁舎整備総合調整事業	担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2907
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 総務防災課長 菅原 孝一					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

